



1 9 7 2 年 ～ 7 3 年

年 次 報 告

昭和 4 7 ～ 昭和 4 8 年 度

横 浜 緑 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ

目 次

会 長 報 告	1
幹 事 報 告	2
クラブ奉仕担当理事報告	5
出席委員会報告	6
職業分類委員会報告	8
親睦活動委員会報告	9
雑誌委員会報告	11
会報委員会報告	11
会員選考委員会報告	12
会員増強委員会報告	12
プログラム委員会報告	12
ロータリー情報委員会報告	15
広報委員会報告	16
S.A.A.報告	19
社会奉仕委員会報告	19
国際奉仕委員会報告	20
ロータリー財団委員会報告	20
職業奉仕委員会報告	21
会 計 報 告	22
横浜緑ロータリークラブ組織表	23
充填、未充填職業分類表	24

会 長 報 告

会 長 小 林 安 雄

月日の経つのは早いもので昨年七月第三代目の会長を仰せつかってより一年、会長として何等成す処なく無意に日を過せし事を振返り誠に慙愧の念を禁じ得ないものがあります。然し乍らクラブとしては副会長、幹事を始め会員各位の心暖まる御協力御支援に依り順調な歩をつづけ本年度を無事終了出来ました事に対し心より感謝申上げる次第であります。

扱て本年度初私としては当クラブも創立三年目を迎えその揺籃期を脱しようとする時に当り「吾々はもう一度ロータリーと云うものを見直してみよう、再考してみよう。そしてロータリーと云う鏡ロータリアンとしての自分をためしてみよう。ロータリアンとして反省してみよう」(CONSIDER & REFLECT THE ROTARY) と云う事を申上げてまいりました。そして私が云わんとする真意は何辺にある哉、今日賢明なる会員諸兄には御判り戴けたと愚考致しております。

又本年度当クラブとして特筆大書す可きは戸田委員長の御尽力によりロータリー財団寄附3,800% (当地区第 2 位) 達成とスイスの姉妹クラブ フラウイルロータリークラブを訪問し大いに国際親善を図り得た事等にあったかと思いますが、唯残念な事はクラブの出席率の低下、特に地区平均より絶えず下廻った事は諸般の事情があったにせよ誠に遺憾でありました。次年度は I.G.F のホストでもありますしロータリーは先づ出席からとも申されております通り是非とも出席率向上に努めて戴き度いと存じます。

何づれにいたしましても本年度を叩き台として次年度加藤新会長の下弥々当クラブの発展を祈念して筆する次第であります。

幹 事 報 告

幹 事 高 橋 正 文
副幹事 森 善 助

ようやくして幹事の任を無事に終了した。先輩及び各委員長さん方のご協力、ご指導のお蔭と深謝する次第です。本当に有難うございました。

川崎における地区大会でロータリー財団客附4位の栄冠を獲得しましたのは戸田大先輩のお力によること大であったこと、と思います。

特に思い出深いのはロザンヌの世界大会に出席し、且つ姉妹クラブ フラヴィルR.O.を訪問したことでした。会長始め参加された皆さんと同様に一生の思い出として、ロータリークラブの発展と共に永久に私の心に残ることでしょう。フラヴィルR.O.訪問に際し、お膳立てをしてくれ、余儀なく退会された藤森会員、又ピンチヒッターとして、その後を努められて、この訪問を成功に導かれた武藤会員の献身的なご努力に敬意を払うと共に心からのお礼を申し上げます。

以下クラブの概況を報告します。

名 称	横浜緑ロータリークラブ
地 域	横浜市緑区一円 人口 205,088人(男 107,773 女 97,315) 56,122世帯 (48年7月1日現在)
事務所	横浜市緑区中山町 横浜銀行中山支店内
例会場	同 上
例会日	毎水曜日 12.30～1.30
創 立	昭和45年2月28日 (スポンサークラブ 横浜港北R.O.) 昭和45年3月11日 RIの正式加盟承認 昭和45年12月13日 認証状伝達式 4クラブ合同 (於横浜市文化体育館)

(1) 会 員

① 会員の種類

正会員	34名	
シニアアクティブ会員	4名	計 38名
内チャーターメンバー	16名	
新入会員	8名	6月末会員 38名

② 年 令

70才台	3名	最高年令	77才
60才台	5名	最低年令	36才
50才台	11名	平均年令	52才
40才台	17名		
30才台	2名		

(2) 例会の来客数

例会数 50回

来客数 (ゲスト及ビジターの合計数 131名)

月	例会数	来客数	月	例会数	来客数
7	4	8	1	4	20
8	5	13	2	4	10
9	4	12	3	3	10
10	4	55	4	4	10
11	5	11	5	5	14
12	4	9	6	4	9
					131

来訪クラブ数 21クラブ

一例会平均 約 3名

(3) 行事及び諸会合

参 加 者

8/18(金)	社会奉仕委員長会(県別)	
	三菱信託B/K西口支店 13:40~16:00	志田会員
8/27(日)	ローターアクトクラブ地区協議会(甲府)	名倉会員
8/28(月)	神奈川県会長幹事会 スカイビル	
	13:40~16:00	小林会長 高橋幹事
9/1(金)	職業奉仕委員長会(県別) 浜銀西口支店	柴田会員
9/10(月)	相模原RC十周年	
9/18(月)	財団委員長会(県別)	戸田会員
10/28(日)	地区年次大会 ホスト川崎南クラブ	
	川崎産業文化会館	27名
11/12(日)	二宮チャーターナイト	小林、高橋会員
11/27(月)	359区第一第二分区 IGF開催の為幹事会	
	スカイビル	高橋幹事
1/20(土)	IGFホスト 港南RC磯子会館	22名

2 / 5 (月)	県下財団委員長会議	戸田会員
4 / 1 (日)	川崎4クラブ合同チャーターナイト	加藤副会長他4名
4 / 6 (金)	県下次期会長幹事会 スカイビル	加藤次期会長
	13:00~15:00	名倉次期幹事
5 / 13 ~ 17日	国際大会 ローザンヌ	小林会長他7名
6 / 2日(土) 3日(日)	地区協議会	加藤次期会長他8名

(4) クラブ内行事及び諸会合

- 7. 5 (水) 第1回定例理事会
 - 1 2 (水) 親睦活動委員会
 - 2 6 (水) クラブアッセンブリー
- 8. 2 (水) 第2回定例理事会
 - 9 (水) 臨時理事会
 - 1 5 (火) ファイヤーサイドミーティング 新横浜ホテル 出席 10名
 - 1 6 (水) クラブ フォーラム
 - クラブ奉仕 リーダー 加藤委員長
 - 2 3 (水) 臨時理事会
 - 3 0 (水) 臨時理事会
- 9. 6 (水) 第3回定例理事会
 - 2 0 (水) 臨時理事会
 - 2 7 (水) 臨時理事会
- 1 0. 4 (水) 第4回定例理事会
 - 2 0 (金) 会員会社従業員ボーリング大会(第2回) 午後6時より 青葉台ボール
- 1 1. 1 (水) 第5回定例理事会
 - 2 2 (水) 武藤電機㈱ 会社見学会(職業奉仕)
 - 2 4 (金) ファイヤーサイドミーティング 横浜新横浜ホテル 出席者 5名
- 1 2. 6 (水) 定例理事会
 - 2 0 (水) クリスマス家族会 寿宴
- 4 8. 1. 1 0 (水) 定例理事会
 - 1 7 (水) 石川ガバナー公式訪問・新年懇親会
 - 2 4 (水) 臨時理事会
 - 3 1 (水) 臨時理事会・クラブフォーラム(職業奉仕)
 - 2. 7 (水) 定例理事会・次年度理事候補者指名委員会
 - 1 4 (水) クラブフォーラム (社会奉仕)
 - 3. 7 (水) クラブ年次総会・定例理事会

3. 2 3 (金) ボーリング大会 青葉台ボール

2 8 (水) 臨時理事会

4. 4 (水) 定例理事会

1 3 日 (金) 14 日 (土) 次年度理事役員委員長アッセンブリー 桐蔭学園

1 8 (水) 臨時理事会

5. 2 (水) 定例理事会

6. 6 (水) 定例理事会

1 0 (日) 中里学園園児招待写生大会 こどものくに

1 3 (水) クラブアッセンブリー

2 0 (水) 臨時理事会

2 7 (水) 年度末懇親会

(5) 入会者

西野 淳造君	47年7月6日入会	篠田 貞光君	48年2月14日入会
藤森 茂〃	7月26日〃	中林 靖〃	4月4日〃
山本 照磨〃	〃 〃	代々木和男〃	〃 〃
加藤 芳昭〃	12月6日〃	阿久根幹茂〃	6月6日〃

(6) 退会者

藤本 明君	47年8月9日退会	浜田淳太郎君	48年1月31日退会
渡辺 宏未〃	9月20日〃	柴田 清〃	4月4日〃
黒沢 保〃	9月27日〃	吉田晴太郎〃	5月2日〃
志田 宝〃	11月29日〃	沢山 勇三〃	6月6日〃
藤森 茂〃	12月27日〃		

ク ラ ブ 奉 仕 担 当 理 事 報 告

加 藤 雅 光

過去1年間は、クラブ誕生后2年をすぎ、やゝ中だるみの感もあって、出席率の低下、有力会員の退会等あり、会員各位の努力にも拘らず、低調に終わった場面も散見され担当理事としては大いに責任を感じ、来るべき年度への反省の糧としたい。しかし各委員会はこのような困難な状況下にも拘らず夫々所定の行事を完全に消化しつくしたことは、各委員長諸兄に感謝を捧げるものである。

出席委員会報告

委員長 森 善 助
委員 西 野 淳 造
" 山 本 照 磨

クラブ例会への出席は会員相互の親睦とロータリー活動を行う基本であると思います。

本年度は出席の向上を目標に掲げましたが十分な成績をあげ得ずガバナー公式訪問の際にも指摘されました。ロータリアンは先づ出席からを心とし今後の出席向上を期待します。

- ① 会員入会日を記念し、記念品を贈り出席の向上を促した。
- ② 例会に欠席する場合はメーク・アップすることを勧めた。

1		2 会 員 総 数 (名 誉 会 員) (を 除 く)	3 出 席 計 算 に 用 いた 会 員 数	4 出 席 又 は メ ー ク ・ ア ッ プ し た 会 員 数	5 百 分 率
7 月	5 日	4 0	3 9	3 8	9 7.4 4
	1 2 日	4 0	3 9	3 5	8 9.7 4
	1 9 日	4 0	3 9	3 7	9 4.6 9
	2 6 日	4 2	4 1	3 8	9 2.6 8
				合 計 平均百分率	3 7 4.5 5 9 3.6 4
8 月	2 日	4 2	4 1	3 8	9 2.6 8
	9 日	4 1	4 0	3 9	9 7.5 0
	1 6 日	4 1	4 0	3 7	9 2.5 0
	2 3 日	4 1	4 0	3 5	9 0.0 0
	3 0 日	4 1	4 0	3 7	9 2.5 0
				合 計 平均百分率	4 6 5.1 8 9 3.0 4
9 月	6 日	4 1	4 0	3 7	9 2.5 0
	1 3 日	4 1	4 0	3 3	8 2.5 0
	2 0 日	4 0	3 9	3 4	8 7.1 8
	2 7 日	3 9	3 8	3 6	9 4.7 4
				合 計 平均百分率	3 5 6.9 2 8 9.2 3
1 0 月	4 日	3 9	3 8	3 5	9 2.1 1
	1 1 日	3 9	3 8	3 6	9 4.7 4
	1 8 日	3 9	3 8	3 2	8 4.2 1
	2 5 日	3 9	3 8	3 4	8 9.4 7
				合 計 平均百分率	3 6 0.5 3 9 0.1 3

	1	2	3	4	5
11 月	1 日	3 9	3 8	3 2	8 4.2 1
	8 日	3 9	3 8	3 6	9 4.7 4
	1 5 日	3 9	3 8	3 4	8 9.4 7
	2 2 日	3 9	3 8	3 4	8 9.4 7
	2 9 日	3 9	3 8	3 6	9 4.7 4
				合 計 平均百分率	4 5 2.6 3 9 0.5 3
12 月	6 日	3 9	3 8	3 7	9 7.3 7
	1 3 日	3 9	3 8	3 6	9 4.7 4
	2 0 日	3 9	3 8	3 8	1 0 0
	2 7 日	3 9	3 8	3 5	9 2.1 1
				合 計 平均百分率	3 8 4.2 2 9 6.0 6
1 月	1 0 日	3 8	3 7	3 5	9 4.5 9
	1 7 日	3 8	3 7	3 4	9 1.8 9
	2 4 日	3 8	3 7	3 5	9 4.5 9
	3 1 日	3 8	3 6	3 4	9 4.4 4
				合 計 平均百分率	3 7 5.5 1 9 3.8 8
2 月	7 日	3 7	3 5	3 1	8 8.5 7
	1 4 日	3 8	3 6	3 4	9 4.4 4
	2 1 日	3 8	3 6	3 3	9 1.6 7
	2 8 日	3 8	3 6	3 4	9 4.4 4
				合 計 平均百分率	3 6 9.1 2 9 2.2 8
3 月	7 日	3 8	3 6	3 4	9 4.4 4
	1 4 日	3 8	3 6	3 5	9 7.2 2
	2 8 日	3 8	3 6	3 3	9 1.6 7
				合 計 平均百分率	2 8 3.3 3 9 4.4 4
4 月	4 日	3 9	3 7	3 4	9 1.8 9
	1 1 日	3 9	3 7	3 1	8 3.7 8
	1 8 日	3 9	3 7	3 3	8 9.1 9
	2 5 日	3 9	3 7	3 5	9 4.5 9
				合 計 平均百分率	3 5 9.4 5 8 9.8 6
5 月	2 日	3 8	3 6	3 3	9 1.6 7
	9 日	3 8	3 6	3 5	9 7.2 2
	1 6 日	3 8	3 6	3 1	8 6.1 1
	2 3 日	3 8	3 6	3 2	8 8.8 9
	3 0 日	3 8	3 6	3 2	8 8.8 9
				合 計 平均百分率	4 5 2.7 8 9 0.5 5
6 月	6 日	3 8	3 6	3 4	9 4.4 4
	1 3 日	3 8	3 6	3 3	9 1.6 7
	2 0 日	3 8	3 6	3 2	8 8.8 9
	2 7 日	3 8	3 6	3 5	9 7.2 2
				合 計 平均百分率	3 7 2.2 2 9 3.0 6

本年度個人100%出席者並連続100%の会員は下記の通りです。

本年度 100% 会 員	連 続 100% 年 数	本年度 100% 会 員	連 続 100% 年 数
石 川	3	岡 本	3
岩 沢	3	高 橋	3
加藤雅	3(10)	戸田修	3(4)
小 林	4(11)	富 永	3
小 峰	4	鵜 川	4
三 沢	4	好 井	3
森	2	加藤芳	
武 藤	3	篠 田	入会以来
中 山	2	中 林	100%
野 路	2	代々木	

尚、加藤雅光君は港北クラブ以来10年、小林安雄君は同じく11年、戸田修君は同じく4年 夫々連続100%になります。

職 業 分 類 委 員 会 報 告

委員長 野 路 久 治
委 員 高 橋 正 文
清 水 勇

1. 本年度職業分類表の作製にあたっては、理事会と連携をとりながら、地域内の精密な職業分類調査を行い、地域柄大きく変動する実態を把握し、昨年度分類表を大巾に改め、受入態勢の整備につとめた。
2. 会員増強委員会・5人制グループと協力しながら未充填職業分類の充填につとめ9名の新会員を得たが、反面に於て10名の退会者を出したことは遺憾である。
3. 当地域は新興地であり、従って、事業所も新しい関係上、分類表作製に当たっての調査も至難な点がある。理事会・関係委員会と協力して十分な調査をするよう努力する必要があると考えられる。

親睦活動委員会報告

委員長	山口吉蔵	好井良雄
	山本照麿	西野淳造
	加藤芳昭	中林靖
	黒沢保	代々木和男

ロータリークラブの発展は親睦会から、と先輩、会友諸氏の御指導御相談をいたゞいて、出来るだけの融和を計り乍ら親睦を重ねてまいりました。

以下本年度の活動報告を致します。

第一回 8月2日 会員相互の消夏法からと、神奈川台（丁字家）の広間に出席者20名、毎日の多忙を忘れ暑気を吹飛ばし、夏の夜の一時を楽しく語り合いクラブの発展を誓い合う有意義な親睦の会でした。

第二回 10月20日 会員相互の事業所等の従業員、家族の第二回ボーリング大会を実施、会場は青葉台ボーリング場。

出場チーム8

出席者 会員を交へて32名

を得てゲームを競いました。日頃お互い関係を持たない人達ですが、ゲームの進むにしたがい楽しいムードとなり、終了後軽食をとりながら反省会、お互いに次回こそはと語り乍ら楽しい親睦の会でした。

第三回 12月20日 家族クリスマスパーティー（横浜中華料理寿宴）

出席者 80名 唄と奇術と落語、声帯模写に手踊、等々、会員持寄りレセプションの交換と和やかなムードの裡に冬の夜の一刻を家族を交へ、童心にかえってのクリスマスを祝い会う事が出来ました。

最後に秋田会員の音頭で「万才」三唱、72年に楽しく別れを告げました。

第四回 1月17日 新年挨拶親睦会

会場（神奈川台滝の家）

出席者 28名

小林会長「本年も親睦を重ね乍ら、ロータリーの発展に尽力いたしまししょう」の挨拶に新年を祝し、終って三銃に小唄の連者もあって新年会にふさわしく楽しいうちに解散。

第五回 3月24日 会員奥様方をクラブ例会場に御招待見学会。

出席者 6名

会員は毎週の例会で、こんな具合に、なごやかに会長を中心に情報を交し乍ら食事を採り、相談をし乍ら行事を進めておりますよ。

食事をしながらの御見学、なかなかの好評で家庭人の御理解も深めて、親睦の意味充分と思われまし

た。

第六回 3月23日 第三回会員事業所従業員、家族ボーリング大会。

会 場（青葉台ボーリング場）

出席チーム 11

出席者 44名

前回に増して参加者の多かった事と親睦の意味を理解して来られたと委員一同感謝しております。

11チーム44名の競うボール、会員と従業員そして家族、競技する相手側相互間にたちまち友情が湧き、親睦が生れた。ゲームが終ってそれぞれ本日の賞品を手になしく軽食をとり乍ら反省会、明日の生産を期して解散。

第七回 6月26日 年度末新旧役員慰労送迎一泊旅行親睦会

当日ゴルフ同好会員は箱根ゴルフ場でゴルフを楽しみ17時30分例会、親睦宴会の計画であったが、当日は夜来からの強雨にかゝらず仙石原に集会した会員欠席者一名のみの好出席、にもかゝらず雨の為ゴルフ不能中止となった。相談の結果、近くの宿に一室を借り受け例会時間までの時間を楽しむこととした。麻雀、囲碁、入浴、アソビ、と思ひ思ひの時間を楽しむことが出来た。

例会場に宮の下温泉場（武蔵観光ホテル別館）。

出席者 37名 欠席者 3名

定刻17時30分例会開催、小林会長の挨拶、30分で本年度最後の例会は鐘の音と共に静かに終了した。

18時新旧役員送迎慰労宴会に移行、小林会長の挨拶、石川会員の音頭で会員相互の健康と会の発展を祝して乾杯、宴会たけなわとなり、手踊、指名演芸と自慢のどと盛宴止むところを忘れたかの様に会員互に肩を叩き会っての慰労と期待と激励と自負に時の流れもいつしかふけて、雨に濡れた音もない箱根湯の宿、新年度のロータリーの発展を約束し合う、楽しき一夜、親睦の実充分に揚げ得たものと床に就きました。

朝8時朝食后解散。

其の他にクラブゴルフ会3ヶ月毎に。

尚4クラブ合同ゴルフ会を実施して居ります。

雑誌委員会報告

委員長	長瀬正作
委員	古屋晃
〃	鈴木憲一

- (1) ロータリアン誌の記事中会員に紹介したい個所をチェックして週報に一部掲載した。
- (2) 会員の「ロータリーの友」に対する感想、希望等を調査した。
- (3) 「ロータリーの友」誌を家族及び従業員にも読んで貰うよう努力したが、従業員の一部からは、「ロータリーの友」誌は所謂金持の雑誌で我々の参考にはならないという声も聞かれた。
我々は今後一層これらを通してロータリーを従業員及一般社会人に理解して貰うよう努力しなければならない。

会報委員会報告

委員長	中野実
委員	沢山勇三
〃	戸田裕也

会報の発行経過報告

- (1) クラブ例会 50回 発行数 50回
- (2) 1年間の会報発行にあたって、痛感しました事は、前期から後期にわたって会員の出席率が著しく低下し、平均93%台に落込んだ事は会報委員会の活動にもその要因があったのではないかと思います。
小林会長の再度にわたる出席率向上の要請もあり、会報へ機会ある毎に掲載致しましたが、思う様に啓もうされず、従って会員に「読んでもらう」会報から「読んでみたい」会報にする様、編集とイラストの内容をさらに研究する余地があるのではないかと反省致しました。次期会報委員会にこの旨をふくめて申し送りをし、より以上の充実をはかり、会報を通して会員の向上にもっていき度いと願っております。
- (3) 会報の送附先は前年度と同じであります。

会員選考委員会報告

委員長	中山恒三郎
委員	戸田修
"	三沢君夫
"	山下栄蔵

本年度は年初の方針通り会員増強委員会と密接な連絡をとり十分なクラブ活動をしていただける人、そして親睦を保てる人を基本として選考を進めました。各会員の御協力に依り、優秀な会員を選考出来ました事を感謝致します。

会員増強委員会報告

委員長	加藤雅光
委員	古屋晃
"	中山恒三郎
"	野路久治

有力会員を含めての退会者が相つぎ、その対応に忙しいと云う状況であった。しかし、後半になって、会員諸氏の御努力によって、新進気鋭の新入会員が、3名増強されたことは特筆大書されるべきであろう。来期への引きつぎとしては、とにかく文字通りクラブ開設時の初心にかえって、増強せねばならないと云うこと。ロータリー永遠の課題である「質か数か」の問いに対しては、クラブの現況は、とりもなおさず数を犠牲にしても、内容を充実してゆくと云うことにならざるを得ない。ここにおいても、来年度は、本当に初心にかえって進むことが必要であろう。

プログラム委員会報告

委員長	武藤松一
委員	小峰政博
"	山口吉蔵
"	清水勇

年初の計画では次の点に重点をおいてプログラムを組みました。

① 奉仕4部門間のバランス

② 1ヶ月前に次月のプログラムの予告を会報に掲載する

③ 良い卓話を準備する

④ 良いプログラムによりビジターの増加への一助とする

併し乍ら、結果としては、プログラム予告を1ヶ月前に会報に掲載する事が殆んど出来なかったこと、又計画されたプログラムは大した変更なく大体計画通りに実行する事が出来た割には、ビジターの増加の一助に余りならなかった事に対し、計画の内容が適切でなかったかもしれない事を反省しています。

次に一年間の実績を一覧表に致します。

記

(敬称略)

月/日	演 題	ス ピ ー カ ー	備 考
4 7			
7 / 5	方針発表	会長、副会長、幹事	定例理事会・総会
1 2	地区協議会報告	小林会長他	
1 9	婚礼の民俗学	国学院大学助教授 桜井 満	
2 6	職業報告	長瀬会員	クラブ・アッセンブリー
8 / 2	禅僧の遺偈	日本大学教授 古田 紹欽	定例理事会・会員懇親会
9	ソ連旅行帰国談	麻生会員	
1 5			炉辺会談
1 6	クラブ奉仕フォーラム		例会のテーブル毎で行う
2 3	外国人と宗教	鎌倉妙長寺住職 立正大学教授 村野 宣忠	
3 0	最近の歯学	東京歯科大学副学長 日本学術会議々員 松宮誠一	
9 / 6	職業報告	沢山会員	定例理事会
1 3	世界理解に因んだ話	入江バストガバナー	
1 4			4クラブ合同ゴルフ競技会
2 0	職業報告	山下会員	
2 7	ブラジルの話	横浜港北R.C 山崎卯一	
1 0 / 4	国際奉仕フォーラム		定例理事会
1 1	日本列島改造論	朝日新聞論説委員 松岡義彦	
1 8	ロータ・アクトに就て	相模伊藤病院長 伊藤 茂	
2 0			会社対抗ボーリング大会
2 5	ヨーロッパ旅行の話	鈴木会員	

月 日	演 題	ス ピ ー カ ー	備 考
10/28~29			地区大会
11/ 1	地区大会報告	鶴川、富永、戸田(裕)、柴田 武藤 各会員	定例理事会
8	成田新空港の出来る迄	成田空港総裁 今井栄文	
9			クラブのゴルフ競技会
15	ロータリー財団週間に 因んで	地区財団副委員長 吉橋伊佐男	
22	職業報告	清水会員	会員会社(KK武藤電機) 見学
24			炉辺会談
29	職業報告	古屋会員	
12/ 6	クラブフォーラム		定例理事会
7			4クラブ合同ゴルフ競技会
13	若年層の意識に就て	KK日本販売管理協会 専務取締役 宮嶋 宏	
20	クリスマス家族懇親会		
27	①社会奉仕映画 “僕淋しいよ” 中里学園 ②オーストラリアと私	マリリン・マクミニナム	
48			
1/10	会長後期の方針	小林会長	定例理事会
17	ガバナー公式訪問		新年宴会
20	神奈川第一及第二分区合同 I・G・F		
24	まるい言葉	藤浦 洸	会員夫人同伴
31	職業奉仕フォーラム		
2/ 7	メキシコとアメリカの旅	渋谷和男	定例理事会
14	社会奉仕フォーラム		
21	映画(スライド) “最も重要な人物”		
28	職業奉仕	戸田(裕)会員	
3/ 7	職業奉仕	加藤会員	定例理事会、定時総会
8			クラブ・ゴルフ競技会
14	創立3周年を迎えて	山崎特別代表、戸田港北RO 元会長、柴田元幹事	
22			4クラブ合同ゴルフ 競技会
23			会社対抗ボーリング大会
28	最近の漫画	漫画家 根本 進	
4/ 4	映画“東海自然歩道”	担当 西野会員	定例理事会
11	日本民俗文化に就て	崔 仁鶴	

月 日	演 題	ス ピ ー カ ー	備 考
4 / 1 8	福祉事務に就て	緑福祉事務所長 浜 恭太郎	
2 5	最近の国際通貨問題	東海銀行外国事業部 資金課長 齊藤 昌	炉辺会談
5 / 2	職業報告	山本会員	定例理事会
9	公定歩合引上げの背景と 今後の経済の見通し	富川 昭	
1 6	中小企業の一側面	原 正則	
2 3	職業報告	山口会員	
3 0	スイス・ローザンヌ世界 大会の報告	小林会長、高橋幹事、武藤会員	
3 1			クラブ・ゴルフ競技会
6 / 2 ~ 3	地区協議会		
6	世界社会奉仕委員会活動に ついて	小林会長	定例理事会
1 3	①節電について	東電神奈川支店 中山営業所長 三ツ間有三	クラブ・アッセンブリー
	②地区協議会報告	会長、副会長、幹事、職業、 社会、国際、R財団各委員長	
1 4			4クラブ・合同ゴルフ 競技会
2 0	激動する日本経済の 今後の動向	参議員議員 竹田 四郎	
2 7	新旧交替懇親旅行会		新旧理事、役員、委員長 引継 アッセンブリー

ロータリー情報委員会報告

委員長 富 永 力
委員 名 倉 健 二

1. 新入会員の教育と同化について

第1回炉辺会談 4 8.8.1 5 新横浜ホテル 出席10名

小林会長のターゲットである“我々ロータリアンの再考と反省に徹しよう”の見地に立って、問題を提案これを新旧会員で論議してロータリーの理解を深め乍ら新会員との同化につとめた。

重なる「テーマ」

① 炉辺会談とそのいわれは

- ② ロータリーとは簡潔に云うと
- ③ ライオンズ クラブとの違いは
- ④ 何故女性ロータリアンがいないのか

第2回炉辺会談 48.1.1.24 横浜ホテル 出席5名

新会員より下記の質問があり高橋幹事より説明がなされた。

- ① 会員資格が「一業一人」であると云う原則と現実には例えば銀行業から数名加入している事実について
- ② 入会に際しての14段階の審査とは
- ③ ポールハリスフェローと準フェローについて
- ④ ガバナー公式訪問について

第3回炉辺会談 48.4.25 中山米福 出席9名

国際ロータリーに於て最近製作された四部からなるスライド題名は「最も重要なる人物」の第1部ロータリーへの入会を歓迎と第2部今度は貴方の働く番だ を上映、小林会長からロータリーの組織と活動について会食を共にし乍ら説明があった。

- 2. 48年2月21日 例会場に於て
ロータリー創立記念日2/23に因んで「最も重要なる人物」スライド四部全巻を上映 会員全部で観賞した。
- 3. 各委員会と密接な連絡を保ち情報の提供につとめた。
- 4. 例会時3分間インスタント情報の提供は案のみにて終った。次年度三沢情報委員長にその実現を申し送った。

広報委員会報告

委員長	岩 沢 幸 男
委 員	石 川 治 道
〃	岩 崎 董 正

昨年度広報活動と反省

・活 動

1. 地域社会にロータリークラブの活動状況を知ってもらう為に、ロータリークラブの行事、奉仕等の実態を新聞社を通し広告や記事にして流す。
2. クラブ内ならびに地域社会へ広報写真により、その活動状態を知っていただく。

・反 省

1. 活動についてはガバナー訪問のときの報告の通りであるが、ガバナーから指示があった「市の広報」を利用出来なかったことを遺憾に思う。
2. 各委員会と広報委員会の連絡をもっと密にすれば充実した活動が出来たと思う。
3. 昨年度のターゲット Let's take a new look ということで石川ガバナーから、ガバナー訪問の際指摘されたり、指導されたことをもう一度見直し、本年度ガバナー訪問の際同じことを指摘されることのないようにしたいものです。

① 会長報告について

最近の日本人の世界の評価は悪評が高い面もある。外国人とつきあうとき、親善の実が上るように努力し、外国のマナーに反しないようにしていただきたい。

② 概況報告について

RI本部からの手紙等多いと思うが、半期報告を必ず行うように（当クラブでは実行している）。

③ クラブ奉仕担当理事報告について

クラブ奉仕担当理事の下に12の委員会があるが、この調整連絡を充分行なうように。

④ 出席委員会報告について

情報、親睦、プログラム、出席の四つの委員会が密接に連絡をとり出席率の向上につとめること。メーキャップは万止むを得ないときとか、例会に出席した他に行なうべきである。メーキャップのとき出席すべき時間の60%で帰る人がいるがこれも万止むを得ないときと心得てもらいたい。

⑤ 職業分類委員会報告について

職業分類委員長は3年継続がよい。（RIで重視している）
神奈川の人口に対するロータリアンの数をつかみ、職業分類をしたかどうか、緑区が約19万人の人口をかかえているなら割合から考えて89人のロータリアンが出来てよいと思う。

⑥ 親睦委員会報告について

家族親睦に一層力を入れてもらいたい。

⑦ 雑誌委員会報告について

The Rotarian を読んでいる人は何人位か？
最近のロータリーの友はよく出来ているよく読んでもらいたい。

- ⑧ 会報委員会報告について
よく出来ているが、保存については充分に気をつけて、5年、10年後に散逸することのないように。
- ⑨ 会員選考委員会報告について
- ⑩ 会員増強委員会報告について
会員選考、会員増強をひっくり返して話すが、会員選考に「NO」をいうと日本では問題になるので推薦するときに責任をもって推薦する。
- ⑪ プログラム委員会報告について
卓話については立派な人を安い費用でお願いするには顔の広い人でなければならない。
卓話は時局にあった話なら例会出席率も向上する。
- ⑫ ロータリー情報委員会報告について
委員は3年継続でやってもらうと結好、はじめて2、3年の活動が大きいとよい結果が出る。
- ⑬ 広報委員会報告について
ロータリークラブの活動を地域社会に知ってもらうこと、市の広報をつかうとよい。
- ⑭ SAA報告について
例会を楽しく、規律あるものにしてみたい。
- ⑮ 社会奉仕委員会報告について
奉仕は皆で考え、皆で行なうことであり、寝たきり老人問題も市の予算からみたら、ロータリーの金額は少ないが、大事なのは皆が行なうことで、金だけが委員長を通して出て行くことではいけない。
- ⑯ 職業奉仕委員会報告について
自分の仕事を通して奉仕することの理解が先決で、基本をよく知ること。
- ⑰ 国際奉仕委員会報告について
何故日本人の風評が悪いのか外国へ行ったとき調べて来てもらいたい。日本人の評判が悪いのでよろしく。
- ⑱ ロータリー財団委員会報告について
会員並びに委員委員長さん御苦労さん。

S A A 報 告

S A A 岡 本 健

副 S A A 篠 田 貞 光

会場監督として秩序正しく品位を保ち、且、能率的な会合を維持し他クラブの訪問者及来賓の方々に良い印象を与える様つとめた。

会場設備は前年度よりの引継ぎで問題なかったが、装置に関してはワイヤレスマイクが不調であった。之は次期 S A A に申送りをした。

スマイルボックスは目標を突破しました会員各位の御理解と御協力に感謝の意を表します。

社 会 奉 仕 委 員 会 報 告

委員長 岩 本 正 三

委 員 名 倉 健 二

〃 三 橋 英 一

〃 古 屋 晃

当委員会は退会、病欠欠席などで充分な奉仕活動ができなかったことは甚だ遺憾であった。

1. ローターアクト結成準備のため10月18日相模原RCの伊藤茂氏を招いて卓話をお願いした。
2. 社会福祉施設「中里学園」を訪問し、その実情を調査した。
又、6月10日 中里学園の園児をこどものくにへ招待し会員及家族16名が之に参加して写生大会を催した。
3. 「こどものくに」へ「ロータリーの森」を創る資金を贈った。これは継続事業として行われているもので、本年で3年目である。
4. 河川を奇麗にする運動の標識の点検、整備を行った。
5. 寝たきり老人、独居老人対策の資料として名簿を整備し、独居老人を個別に訪問してその実態を調査した。
6. 緑消防署へワイヤレスマイクを寄贈した。

国際奉仕委員会報告

委員長 鵜川 昇
委員 土志田 昭吉
" 山下 栄蔵

1. 姉妹クラブに関して

ローザンヌ世界大会に小林会長、高橋幹事、武藤、好井、森、土志田、富永、岩沢、8会員が夫人同伴で参加し横浜旭RC、安藤会員が同行して、帰途姉妹クラブ フラウィルRC(スイス)を訪問。フラウィルRCは歓迎パーティーを盛大に挙行され、大いに友情を深めた。又パーティー終了後は、フラウィルRC会員の家庭に夫々分宿し、更にその交歓の実をあげた。これには昨年 鈴木憲一会員がフラウィル訪問して日本の花嫁衣裳を贈呈したことが大いに影響したものと考えられる。当クラブからは、フラウィルRCにテープレコーダー一式及び会員及び会員夫人に記念品を送った。

2. 開発途上国への援助については具体案を検討中である。

ロータリー財団委員会報告

委員長 戸田 修

ロータリー財団の精神は「博愛、慈善、教育的性質の確実で且つ効果的な企画によって各国の国民間に理解と友好関係を増進する」ことである。1917 アーチクラフ氏が提案して前述の財団の精神にマッチする寄附金を一般に受けようではないかと云われ、財団寄附金の基礎になり更に1928. ミネアポリス国際大会で現在のロータリー財団として知られる組織が承認され、其の後第二次大戦等により一時停滞したが1947年ロータリー創始者ポールハリスの死去により国際理解のためロータリー奨学金プログラムが発足した。其の後は目覚ましい発展が続けられ、各種の奨学金、補助金が世界の青年の教育的国際友好の為に多額に費して居る従って世界のロータリアンは此の崇高なプログラムの年々飛躍発展させることを願い財団に協力し寄附額を増額し永く続けること願わねばなるまい。吾が緑ロータリークラブ今年度の財団の仕事を回顧すれば

- (1) 11月15日財団週間に地区財団副委員長吉橋伊三郎氏を招き卓話を依頼しこの週間を期して会員の本年度財団準フェローの集金をして1,090,800円を財団に送った。

ポールハリスフェローに森善助君及加藤雅光君が誕生した。

新規準フェローに高橋正文君、山口吉蔵君、吉田晴太郎君、鵜川昇君、中林靖君及び代々木和男君の六氏が加盟されて準フェローは23名となった。

- (2) 本年の地区大会に於て第四位の榮譽を担うことが出来た。
- (3) 本年度は大学院課程の奨学金を得るべく慶大卒の大道博之君を吾がロータリーから推選したが、残念なことにパスしなかったが、機会あるごとにロータリー財団の情報を流して財団の寄附金の必要性を会員諸氏にPRして居る。

以 上

職 業 奉 仕 委 員 会 報 告

委員長	野 路 久 治
委 員	秋 田 茂
"	好 井 良 雄
"	山 本 照 磨

1. 11月22日例会終了後会員武藤松一君経営の株式会社 武藤電機を見学・懇談いたし、会員一同得るところ大きいものがあった。
2. 1月31日 5人制グループ別に下記テーマの下にフォーラムを行った。

記

A. 各自の業務を通じての職業奉仕はどのようなものが事例を挙げられたい。

B 「4つのテスト」をどのように考え、普及するか。

C 雇用主と使用人関係

- ・労組設立の是非
- ・賃金アップは何を主体に考えるべきか
- ・トップの報酬はどの程度が真実・公平か

昭和47年度収支決算書

昭和47年7月1日～昭和48年6月30日

(単位:円)

収 入 の 部					
科 目	小 科 目	予 算 額	決 算 額	予 算 比	備 考
会 費	年 会 費	3,440,000	3,253,000	△187,000	
入 会 費		280,000	320,000	40,000	
スマイル ボックス		450,000	581,617	131,617	
ビジター 収入		96,000	72,800	△ 23,200	
本 部 納 入	1 0 \$ 寄 附	15,150	23,665	8,515	
雑 収 入		20,000	22,076	2,076	
前 年 度 繰 越		341,948	341,948	0	
合 計		4,643,138	4,615,106	△ 28,032	

支 出 の 部					
科 目	小 科 目	予 算 額	決 算 額	予 算 比	備 考
本 部 納 入	R I 人 頭 分 担 金	104,232	92,868	△ 11,364	
	財 団 寄 附	93,324	70,251	△ 23,073	
	地 区 資 金 事 業 費	146,200	142,565	△ 3,635	
	米 山 フ ァ ン ド	64,500	57,750	△ 6,750	
	そ の 他	130,000	127,900	△ 2,100	
小 計		538,256	491,334	△ 46,922	
委 員 会 費	ク ラ ブ 奉 仕	310,000	246,495	△ 63,505	
	職 業 奉 仕	30,000	2,630	△ 27,370	
	社 会 奉 仕	450,000	171,345	△ 278,655	
	国 際 奉 仕	100,000	49,690	△ 50,310	
小 計		890,000	470,160	△ 419,840	
例 会 費		1,300,000	1,299,247	△ 753	
会 議 費		30,000	6,000	△ 24,000	
登 録 費		40,000	37,800	△ 2,200	
書 籍 費	ザ ロータリアン購読費	4,620	4,525	△ 95	
	ロータリーの友	56,760	53,570	△ 3,190	
	そ の 他	50,000	49,255	△ 745	
小 計		111,380	107,350	△ 4,030	
事 務 局 費	事 務 費	30,000	27,705	△ 2,295	
	通 信 費	40,000	31,985	△ 8,015	
	事 務 委 託 費	474,250	464,250	△ 10,000	
小 計		544,250	523,940	△ 20,310	
印 刷 費	週 報 代 他	580,000	371,550	43,930	
	そ の 他		252,380		
贈 答 費		170,000	179,650	9,650	
慶 弔 費		100,000	71,000	△ 29,000	
備 品 費		160,000	142,350	△ 17,650	
パ ナ - 費		66,400	66,400	0	
雑 費		50,000	41,088	△ 8,912	
次 年 度 繰 越		62,852	55,485	492,005	
合 計		4,643,138	4,615,106	△ 28,032	

横浜緑ロータリークラブ組織表 1972~73 (昭和47~48年度)

I 理事	秋田 茂 加藤 雅 光 小林 安雄 (柴田 清)
	(志田 宝) 野路 久 岩本 正三
II 役員	会 長 小林 安雄 会 計 (浜田淳太郎) 篠田 貞光
	副会長 加藤 雅光 S. A. A 岡本 健
	幹 事 高橋 正文 副 S. A. A (浜田淳太郎) 篠田 貞光
	副幹事 森 善助

III 委員会

A クラブ奉仕担当理事

加藤 雅光

委 員 会

委 員 長

委 員

- | | | | | |
|------------|-------|------------|----------|-------|
| 1. 出 席 | 森 善助 | (藤本 明) | 西野 淳造 | |
| | | (渡辺宏未) | | |
| 2. 職 業 分 類 | 野路 久治 | 高橋 正文(2) | 清水 勇(3) | |
| 3. 親 睦 | 山口 吉蔵 | (藤森 茂) | (藤本 明) | |
| | | 岩本 正三 | (黒沢 保) | 阿久根幹成 |
| | | 西野 淳造 | 戸田 裕也 | 加藤 芳昭 |
| | | 山本 照麿 | 好井 良雄 | 中林 靖 |
| | | | | 代々木和男 |
| 4. 雑 誌 | 長瀬 正作 | 古屋 晃 | 鈴木 憲一 | |
| 5. クラブ会報 | 中野 実 | 麻生 和衛 | (沢山 勇三) | |
| | | (吉田晴太郎) | 戸田 裕也 | |
| 6. 会 員 選 考 | 中山恒三郎 | 三沢 君夫 | 戸田 修 | |
| | | 山下 栄蔵 | | |
| 7. 会 員 増 強 | 加藤 雅光 | 古屋 晃 | 中山恒三郎 | |
| | | 野路 久治 | | |
| 8. プログラム | 武藤 松一 | 小峰 政博 | 清水 勇 | 山口 吉蔵 |
| 9. ロータリー情報 | 富永 力 | (吉田晴太郎(2)) | 名倉 健二(3) | |
| 10. 広 報 | 岩沢 幸男 | 石川 治道 | 岩崎 董正 | |
- B 社会奉仕担当理事委員長 (志田 宝) 岩本 正三
都市安全 三橋 英一 インターローターアクト 名倉 健二
社会福祉青少年事業 (黒沢 保)
- C 職業奉仕担当理事委員長 (柴田 清) 野路 久路
委 員 秋田 茂 山本 照麿
好井 良雄
- D 国際奉仕担当理事委員長 鷗川 昇
国際青少年交換、国際親睦理解 土志田昭吉
世界社会奉仕 山下 栄蔵
ロータリー財団 戸田 修 (渡辺 宏未)
ロータリー米山財団 (沢山 勇三)

充 填 ・ 未 充 填 ・ 職 業 分 類 表

正 会 員

職 業 分 類		会 員 名	勤 務 先	役 職 名
関 連	分 類			
農 芸	農 業	森 善 助		
冷 暖 房	空調調整装置製造	武 藤 松 一	(株)武藤電機	取締役社長
	冷暖房機器配布	古 屋 晃	(株)産業設備	代 表 者
自 動 車 工 業	ば ね 製 造	石 川 治 道	日 研 究 条 (株)	取締役社長
	自 動 車 配 布			
	自 動 車 修 理			
酒 精 飲 料	酒 類 配 布	中 山 恒 三 郎	(株)中山恒三郎商店	取締役社長
建 築 材 料	建 築 材 料 配 布	代々木和男	(有)代々木商店	取締役社長
	アスファルト合材製造	中 林 靖	日本舗材(株)	代表取締役
化 学 工 業	医 薬 品 配 布			
建 設 業	建 築 設 計	(渡辺 宏 末)	(株)渡辺工務店	専務取締役 (退)
	請 負 業	土 志 田 昭 吉	土 志 田 建 設 (株)	取締役社長
	工 場 鉄 骨	(黒 沢 保)	昭和鉄工(株)	代表取締役 (退)
	土 木 工 事	三 橋 英 一	三 橋 建 設 (株)	取締役社長
衣 料 及 雑 貨	衣 料 配 布			
教 育	高 等 学 校	鷗 川 昇	桐蔭学園	校 長
	幼 稚 園	岩 沢 幸 男	みほ幼稚園	園 長
電気及電子工業	電 子 機 器 製 造	(吉田晴太郎)	日本高周波(株)	取締役社長 (退)
金 融	貯 蓄 銀 行	篠 田 貞 光	横浜銀行中山支店	支 店 長
	商 業 銀 行	山 本 照 磨	三井銀行青葉台支店	支 店 長
	興 業 銀 行	西 野 淳 造	東海銀行中山支店	支 店 長
	信 用 金 庫	小 峰 政 博	八千代信用金庫長津田支店	支 店 長
銃 器 及 火 薬	銃 器 製 造	岡 本 健	(株)ミロク精機製作所	取締役社長
食 品 工 業	飼 料 製 造	麻 生 和 衛	日本農産工業(株)中央研究所	常務取締役 所 長
金 物	金 属 性 工 具 類 配 布			
園 芸	花 配 布			
ホテルリゾート 及レストラン	ド ラ イ ブ イ ン			
施設及病院	病 院	戸 田 裕 也	長津田厚生総合病院	副 院 長
絶 縁 材 料	電 気 絶 縁 物 製 造	山 口 吉 蔵	横浜化成(株)	取締役社長

職 業 分 類		会 員 名	勤 務 先	役 職 名
関 連	分 類			
鉄 鋼 業	鉄 鋼 配 布			
	鉄 鋼 建 築 業	好井良雄	(株)好井鉄工所	取締役社長
法 律	一 般 弁 護 士			
機 械 及 装 置	建 設 機 械 製 造	山下栄蔵	山下工業(株)	取締役社長
	履 帯 製 造	名倉健二	(株)東京リンク製作所	取締役社長
	金 型 製 造			
	機 械 配 布			
	温度調節器製造	(藤本 明)	宝工業(株)	代表取締役 (退)
動 物 性 食 品	乳 製 品 製 造	清水 勇	(株)雪印こどもの国牧場	専務取締役
医 術	内 科 医	高橋正文	高橋医院	院 長
	歯 科 医	岩本正三	岩本歯科医院	院 長
	消 化 器 科 医	加藤雅光	ヨコハマクリニック	院 長
	産 婦 人 科 医			
	小 児 科 医	阿久根幹成	阿久根医院	院 長
金 属 工 業	板 金 工 作	小林安雄	小富士産業(株)	取締役社長
鉱 油 工 業	精 油 配 布	長瀬正作	(株)長瀬商事	代表取締役
事 務 所 用 品	イ ン キ 製 造	(秋田 茂)	諸星インキ(株)	相 談 役 (シニアアクチフ)
	事 務 用 品 配 布			
写 真	肖 像 写 真	中野 実	(有)中野商事	代表取締役
プラスチック工業	プラスチック材料製造	(柴田 清)	三新工業(株)	取締役社長 (退)
	ビニール高周波加工	富永 力	富永高周波工業(株)	取締役社長
印 刷 及 出 版	印 刷			
不 動 産 業	ビ ル 賃 貸	野路久治		
	賃 地			
レクリエーション	ボ ー リ ン グ 場	三沢君夫	三沢合資会社	代 表 者
	スポーツ用品配布			
	遊 園 地	(沢山勇三)	特殊法人 こどもの国協会	常勤理事・ 園長(退)
宗 教	神 道	(志田 宝)	神取前川神社	宮司(退)
	仏 教			
倉 庫	倉 庫			
運 輸	タ ク シ ー 業			
	通 運			
木 材 工 業	木 材 配 布			

職 業 分 類		会 員 名	勤 務 先	役 職 名
関 連	分 類			
綿 業	綿 製 品 配 布	加 藤 芳 昭	東海綿業(株)横浜支店	支 店 長

シニア アクチブ会員

	(衣 料 配 布)	岩 崎 董 正	岩崎呉服店	代表取締役
	(病 院)	戸 田 修	長津田厚生総合病院	院 長
	(タ ク シ ー 業)	鈴 木 憲 一	㈱田園都市交通	取締役会長
	(イ ン キ 製 造)	秋 田 茂	諸星インキ(株)	相 談 役

アデিশヨナル正会員

鉄 鋼 業	鉄 鋼 建 築 業	(藤 森 茂)	㈱好井鉄工所	取 締 役 (退)
-------	-----------	---------	--------	----------------

